

学校だより



平成27年度 第18号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H27. 9. 29

9月の俳句 なによりも会いたし秋の陽になって

佐々木 貴子

過ごしやすいさわやかな季節になりましたが、朝夕には空気の冷たさを感じるようにもなりました。我が家の庭にもウメドキが赤い実を付け、冬への準備をしているようにも思えます。もうわずかで9月も終わり、10月には1学期の終了と2学期の開始、そして夕顔祭と慌ただしく月日は流れていきます。保護者の皆様にも健康に留意され、お子様とともにさわやかな季節を有意義にお過ごしますようお願いいたします。

1 薬物乱用防止教室が実施されました。

9月7日(月)、6校時に、劇団三十六計のみなさんによる、薬物乱用防止教室が行われました。実は本校では3年前にも、公演をいただきましたが、その時は覚醒剤などの薬物の害についてのものでした。今回はより身近な危険ドラッグの使用の防止の内容に変わっていました。新聞、テレビ等で薬物使用による被害が多く報道されています。うちの子に限ってまさかと思いますが、ちょっとしたきっかけで手を染めるケースも多くあります。前もって安全のための知識を劇で知っておくことで予防効果は高くなると思います。生徒の感想をお知らせします。

今回の演劇を鑑賞して、薬物乱用は本当に危ないことを改めて実感することができました。1回小学生の時に「薬物乱用防止教室」がありました。そのときはいろいろな薬の種類を知りましたが、今回は乱用するとどのようなことが起きるのかを学ぶ事ができました。これから先、いろいろなことがあって誘われることがあったとしても、絶対にことわって薬物には手を出さないで、明るい未来をおくっていきたいです。1年1組 関 日真里

今まで薬物乱用がいけないことだと言われていても、本当にあぶないものなのか、よく理解していませんでした。今回の劇を見て、薬物を乱用することでこんなにも人は変わってしまうのかと思いこわくなりました。さそわれても絶対に断らないといけないので、それが心配ですが、絶対に使いたくないと思いました。2年2組 松本 愛莉

薬物はいろいろな名前に変えられていて、粉状のもの、市販、病院でもらうような小粒状のもので売られていて、外からみるとわからないようになっていくことを改めて知ることができました。演劇を見ていて、1度使用してからの使用回数がだんだんと増えていること、言動がいつもと違っておかしくなっていることを見て感じる事ができました。もし先輩や、知り合い、または知らない人に薬のようなもの、そうではないようなものをすすめられてもきっぱりと断りたいです。3年2組 小川 嘉仁

2 10月の予定

- 10月1日(木) 立ち会い演説会、生徒会役員選挙
- 5日(月) 中教研B部会 B日課
午前中授業、部活動なし
- 7日(水) 全校朝会(薹) B日課 6時間授業
- 8日(木) 後期専門委員会結成 B日課
- 9日(金) 1学期終業式
- 13日(火) 2学期開始
- 13日(火) ~23日(金) B日課夕顔祭準備
- 14日(水) 学年朝会 6時間授業
- 16日(金) 花植え
- 16日(金) ~18日(日) 県新人大会
- 24日(土) 夕顔祭
- 26日(月) 夕顔祭振替休日
- 28日(水) 全校朝会 小中合唱交流
- 28日(水) ~11月6日 教育相談B日課



薬物乱用防止演劇 作・演出 戸田古道
すばらしい明日のために…
危険ドラッグ
『持たない』『使わない』『近寄らない』

3 下都賀地区新人大会の結果

9月25日(金)～27日(日)に下都賀地区新人大会が開催されました。前回の学校だよりでは、各部の部長さんに大会への抱負を書いてもらいました。結果はそれぞれですが、大切なことは結果ではなく、目標に向かってどれだけ前向きに取り組むことができたかだと思います。頑張れた事は自信にし、足りなかったことはこれからの練習で取り組んでいくことです。また、お忙しい中、応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

野球部 2回戦敗退(1回戦 5対0 乙女、2回戦 1対2 間々田)
バドミントン部 男子団体 準優勝(県大会出場)
ダブルス3位 角田駿哉・吉川有海組 小林大起・伊澤颯翔組(県大会出場)
シングルス 7位 飯野敦也(県大会出場)
女子団体 ベスト8(県大会出場)
シングルス 7位 小川実久仁(県大会出場)
ソフトテニス部 男子団体 1回戦敗退
女子団体ベスト8 敗者復活戦敗退
個人ベスト16 大塚梓海・生沼千遥組(県大会出場)
卓球部 男子団体戦 予選リーグ敗退
バスケットボール部 1回戦敗退
剣道部 男子団体 予選リーグ2位 敗者復活戦敗退

4 平成28年度以降の部活動について

紹介しているとおり、部活動各部の生徒たちは一生懸命に練習や試合に取り組んでいます。しかし今後の課題としての学級減に伴う部活動のあり方については、部活動顧問会議や職員会議を重ねてきましたが、生徒達の活動に影響する大きな問題であり、簡単には結論ができません。各部の顧問も全体としては部活動について改革することは必要と思っておりますが、具体的にどの部をとということにはいろいろな考えがあり、今まで活動してきた経緯を考えると少しでも納得のいく解決を模索しております。

現状を整理しますと、
現在8学級が、28年度8学級、29年度7学級の予定であり、その後は6～7学級の可能性があります。

現在の教員数15名が、28年度には15名、29年度13名、そして6学級になった場合は12名(学級数、教員数とも現在の見込みです。転出等により変動します。)

現在の部活動数 8部(野球、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、卓球、剣道、吹奏楽、美術)

※ソフトテニスは男女で会場が異なり、バドミントンも会場が異なることもあるので、顧問を1名づつで担当しても、最低で10名、バスケットが28年度秋から休部になりますが、新体操等の引率を考えるとそれでも10名の教員が必要になります。複数の顧問をつけることができない部が多くなります。

そして、入部しない生徒もいることを考えると、1つの部あたり学年5～6人の部員によるチームとなり、練習や試合にも支障をきたすことが考えられます。さらに、希望が偏った場合にはチームが組めないことも予想されます。

その中で、次の2つの方向が提案されています。

- ① 再度検討を重ね、1つ以上の部を28年度から1年生の募集を停止する。
メリット 複数の顧問がいるので、休日や出張でもどちらかの教員が指導に当たれる。
デメリット 1つ以上の部を将来的に削減しなければならない。
- ② 現状の部活動数を継続し、そのかわり、今まで複数の顧問での指導を1名の顧問とし、土曜日、日曜日の活動については、原則としてどちらかの活動を休みとする。
(顧問の都合によっては、土曜、日曜とも休みとなることも考えられる。また、平日であっても、指導者の出張により活動できない場合もある。)
メリット 現在活動している部を継続することができる。
デメリット 指導者が1名となることで、休日の練習等が今までどおりにはできない。

どちらの方法でも、問題や、解決していかなければならない課題もあります。この後、部活動係より、保護者の皆様にご意見を伺うことも考えておりますが、そのうえで目指すべき方向を決め、12月の新入生保護者説明会までには決定をしたいと思っております。よろしくお願ひします。